

日産車体、湘南工場で「NV200 タクシー」のオフライン式を開催 ～湘南工場再編完了後初めての新型車、日産の次世代タクシーを量産開始～

日産車体株式会社(本社:神奈川県平塚市堤町 社長:渡辺義章)は、6月1日、同社の主要生産拠点である湘南工場において日産の次世代タクシー「NV200 タクシー」の量産を開始しました。同日、湘南工場内で行われた式典には、同社理事・湘南工場長 梶井 亮をはじめ関係従業員が多数参加しました。



「NV200 タクシー」はグローバルで高い評価を得ている多目的商用車「NV200 バネット」を基に開発したワゴンタイプの新世代タクシーで、セダンタイプが主流であったこれまでのタクシーのイメージを一新します。「NV200 タクシー」と同様のモデルは、すでに米国・ニューヨーク市にて、次世代イエローキャブとして活躍しています。

この新型「NV200 タクシー」は、再編を完了した湘南工場での初めての新型車となります。式典には同社の従業員約500名が参加し新型「NV200 タクシー」の量産開始を祝いました。式典の中で湘南工場長の梶井 亮は「NV200 のグローバルマザー工場である湘南工場で、日本のタクシーの歴史に新たな1ページを刻むこの次世代のタクシー『NV200 タクシー』を生産できることを大変誇りに思っています。先代のセドリックタクシーを長年生産してきたノウハウを活かして、ここ湘南生まれの品質の良い新型タクシーを1台でも多く日本中にお届けしたい。」と述べました。

湘南工場は2013年に生産ラインの集約を完了し、効率的でフレキシブルな生産体制を確立。今後その生産の特長である多車種混流生産を最大限に活かして、お客様のニーズにきめ細やかに対応できる工場を目指してまいります。

以上

[問い合わせ先]
日産車体(株)広報室
電話:0463(21)8898
<http://www.nissan-shatai.co.jp>